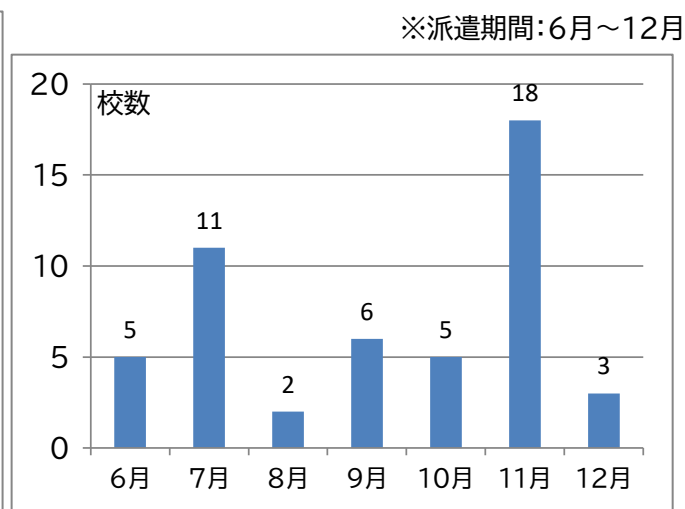
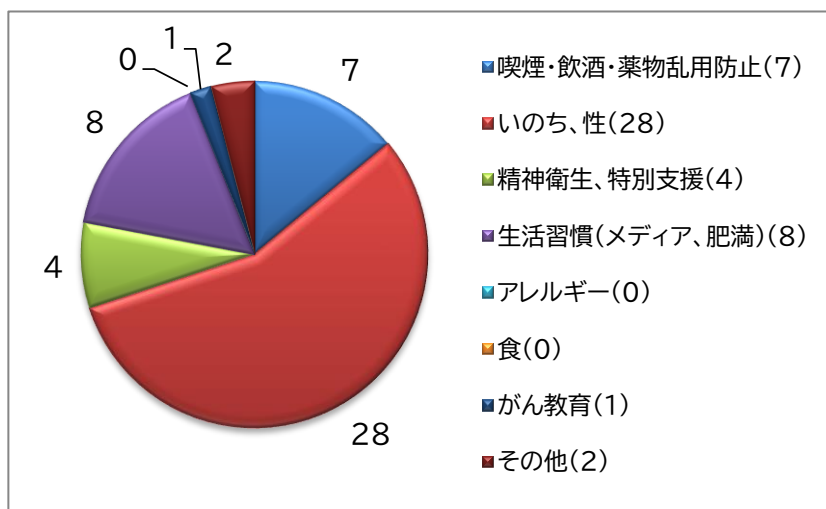

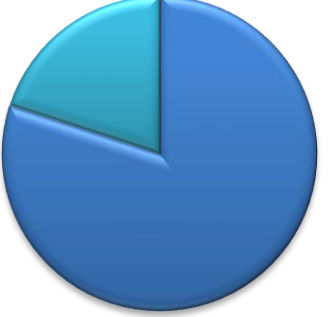



令和3年度 子どもの健康づくり連携事業 専門医の派遣（実践のまとめ）



実施校	専門医の領域	内容	対象	感想	
1	小学校	総合診療科	メディア	6年生 保護者	○ゲームのしすぎが重い病気になることを知ったので、今日学んだことを今までのルールに取り入れていこうと思いました。 ○今日感じたことや思ったことを自主的に取り組めるように声かけなどしながら見守っていきたいと思う。
2	小学校	緩和ケア科	がん教育	4年生	○がん教育で学んだことを家族に教えたい。 ○がんになる原因をはじめて知った。 ○たばこやお酒をひかえめということが心にのこった。 ○がんのおじいちゃんにがんばってほしいと思った。
3	小学校	小児科	肥満	養護教諭 教職員等 (ZOOM)	○肥満の仕組みや内臓、脂肪等の関係から専門的に理解することができた。 ○小児期の肥満解消が重要であることがわかった。 ○保護者への対応についても参考になった。
4	中学校	小児科	依存症予防	1年生	○メディアによる脳の影響で、暴力的になったり、不登校になったりすることが怖いと思った。 ○睡眠時間と学習効果の関係や早寝・早起き・朝ごはんの重要性を理解することができた。
5	中学校	産婦人科	性・いのち	3年生	○月経痛は、がまんしなければならぬと思っていたが、治療したり、もっと身近なお医者さんに相談したりしてよいことなどを知り安心した。男子にも悩みや、たくさん困っていることがあるとわかり、友達同士助け合えるようになりたい。 ○お互いのことを思いやり、責任のとれないことはしない、されたくないことには「NO」と言える関係性をつくれることが、これから生きていく中で大切だと思った。
6	高等学校	内科	喫煙防止	1年生	○講演を聞いて吸いたくないという気持ちになった。誰に誘われたとしても自分で断る力を身に付けて自分の命を守りたいと思った。 ○今日の話聞いて、父に薬をすすめて少しでも禁煙できるようにしていきたいと思った。一人一人が健康で長生きしていくためにとても大事だと思った。
7	高等学校	精神科	スマホ・ゲーム依存症	全校生徒	○これまで「好きで使用する」と「依存症」の見極めがわからなかったが、自分の意志でやめられるかどうかという基準を教えてもらい、今後の指標にしたい。 ○依存症は、意志が弱く、怠ける者が陥るものと誤解していた。単に快感を得るためではなく、苦痛の緩和のために依存に陥ることもあり、依存症は誰にでも起こり得るものであるとわかった。
8	高等学校	産婦人科	性・いのち	2年生	○男と女の二択の性の限定にとらわれず、様々な人たちが自由に暮らせる世の中になればよいと思った。 ○望まない妊娠や性感染症のリスクをなくすためにも、パートナーとのコミュニケーションや思いやりが大切であることがわかった。 ○性に関しても、わからないことや困ったことがある時は、周りの人や専門家に相談するようにしたいと思った。
9	特別支援学校	歯科	摂食・嚥下について	教職員	○学校と家庭、放課後デイサービスと連携しながら、安全第一で「食べるのが楽しい場」となるよう支援していきたい。 ○児童生徒に適した食形態選定や器具の選び方など、改めて検討したい。 ○食事介助の注意点や箸の持っていく場所、ガムラビングなど大変参考になる内容だった。
10	特別支援学校	産婦人科	性・いのち	教職員	○大人や教職員の認識や常識を見直す必要があると思った。 ○家庭と連携して一貫した指導が必要だと感じた。 ○保護者の方の困り感、察するに余りあるので、ぜひ保護者対象に講演をしていただきたい。

令和3年度 子どもの健康づくり連携事業（専門医の派遣）報告書より

<p>健康課題解決について</p> <p>■有効 ■有効でない ■評価なし 100% 0% 0%</p> 	<p>○「早寝・早起き・朝ごはん、自らメディア・コントロールできる子ども」をめざした取り組みの一環として、発達段階とねらいに沿ったお話をお聞きすることができた。</p> <p>○メディアによる脳への影響が前頭前野に悪影響を及ぼし、自己をコントロールできず、ゲームが止められなくなり、夜遅くまでやったり、朝起きられなかったり、対人関係もトラブルを起こしたりすることを生徒が理解し、これからの生活に生かそうと考えるようになった。</p> <p>○若者の妊娠中絶が増えていることを踏まえ、DVや妊娠、月経困難症等について丁寧に教えていただいた。また、テレビドラマの「コウノドリ」の話やイラストなどを用い、大変分かりやすく生徒に説明していただき、自分の問題として考えることができた。</p> <p>○二次性徴、妊娠、出産等の性の知識だけではなく、性的マイノリティー、性被害、性感染症予防等について教えていただいたことで、自分にも周囲の人に対しても尊重しあえる生き方を学んだ。</p> <p>○自分の自由な選択の一つが将来の健康につながる事実を認識させ、タバコの有害性と併せて選択の大切さを教えている。タバコだけではなく、健康に関する知識全般を深めるため、専門家に学ぶ機会を多く作り、選択、継続に重点をおいて支援している。講師には事前に実態の把握や質問等を知らせ、子どもたちには、授業後の感想を書いてもらうなど知識の定着と課題を評価している。</p>
<p>校内の組織づくりについて</p> <p>■有効 ■有効でない ■評価なし 80% 0% 20%</p> 	<p>○指導部において計画立案を行い、当日は学年部で運営を行うなど、組織的に取り組むことができた。また、授業参観に親子学習という形で実施することで、親子一緒に健康課題について考える機会になった。</p> <p>○講演会を通して、学年団で役割を分担し、実施することで学年団の意識を高めることができた。また、今後の学年・学級指導の方向性を共有することができた。</p> <p>○いのちの学習年間計画に基づき、講師との連絡調整は養護教諭、準備・運営は健康安全指導部を中心に学年の先生と連携して実施できた。</p> <p>○年度当初の教育課程計画に沿って、5年生の保健体育の教科内容を含む内容で実施している。年間計画に掲示されているので、校内の係分担や専門医との日程調整、事前打ち合わせについても十分に時間をとって準備することができた。</p> <p>○保護者も参加する学校保健委員会で講演していただいたことで、健康課題への関心を一層高めることができた。</p> <p>○PTAと連携して行っているメディアの取組にも役立つと感じた。</p> <p>○講演の運営に教頭、教務、養護教諭、講演内容は生徒指導部、各学年や教科での指導内容など校内組織での道筋がみえてきた。</p>
<p>校外の関係機関との連携</p> <p>■有効 ■有効でない ■評価なし 96% 0% 4%</p> 	<p>○メディア・コントロールについては、中学校と連携した取り組みを行っているため、外部講師活用などについて情報交換を行った。総合診療科の医師の存在を知る機会となった。</p> <p>○打ち合わせなどで、学校現場の困り感などを相談することができた。その中で、これまで扱った様々なケースを紹介していただいたり、アドバイスをいただいたりした。</p> <p>○生徒にとって性に関する話や産婦人科の受診などは、後ろめたさを感じてしまう分野であるが、講話を受けて、生理不順や月経困難症があった場合には、受診するという認識を持つことができた。また、学校近くの産婦人科の先生のお話をお聞きすることができ、生徒にとって相談しやすい環境が整ったのではないかと思う。</p> <p>○事前の打ち合わせに丁寧に応じてくださり、学年の実態や学年からの願いや要望、事前アンケートをもとに生徒に寄り添った内容を盛り込んでくださった。</p> <p>○実際に病院でCT肺がん等の診察をしている医師が来校しての指導は、リアルで最新の医学知識に基づいており、専門的な知識や写真は、非常に説得力があった。将来自分が直面するかもしれない問題としてとらえ、喫煙防止等に大きな学習効果を上げている。自分の将来について考えるよい機会になった。</p> <p>○小児科医師の講話を聞くことができ、大変参考になった。学校医、教育委員会、町健康福祉課、町内養護教諭と健康課題を共有することができた。</p>